



副代表幹事  
環境・エネルギー委員会 委員長

**長島 徹**

帝人  
取締役会長

### Contents

■特集	
<b>2020年 東京オリンピック・パラリンピック 招致に向けて</b>	02
■Doyukai Report	
被災地出張授業 <b>働くこととは</b> 杉江 和男	11
■Seminar	
第119回 TCERセミナー ミニ・シンポジウム <b>「資本主義のあり方を考える」</b> 基調講演 <b>「日本・中国・韓国の市場経済を比較する —歴史的視点から—」</b> 青木 昌彦 氏 スタンフォード大学 名誉教授 / 経済同友会 代表幹事特別顧問	13
■Column	
<b>巻頭言</b> 長島 徹 <b>「規制緩和は新しい産業構造、社会への必須条件」</b>	01
<b>リレートーク</b> 青木 巖 <b>「不動産流通税の撤廃を！」</b>	10
<b>TOKYO2020 夢の力</b> 平手 晴彦 <b>「東京の素晴らしさを世界に発信」</b>	15
<b>コペンハーゲン通信</b> <b>「リハビリと教育現場でのIT活用」</b>	16
<b>私の思い出写真館</b> 森本 昌憲 <b>「無我夢中、実践で鍛えられた海外でのホテル開発・運営」</b>	18
<b>新入会員紹介</b>	17

今月の表紙：世界の文様シリーズ

#### 【メキシコ・テキスタイルパターン】

スペイン的な文様も見られるメキシコですが、やはりマヤ文明、アステカ文明が大きく影響しています。この文様は明るく健康的です。

## 「規制緩和は新しい産業構造、社会への必須条件」

例年通り今年の正月も関西で家族11人そろって迎えた。今年は例年に比べると何となく明るく期待感のある日本の正月に感ぜられた。1月5日には廣野ゴルフ倶楽部で初ゴルフをしたが、今年一番の寒波に見舞われ、朝出掛けるときはマイナス1°Cで、日中最高気温は5°Cとの気象情報に、いつもより下着を一枚余分に着込んだ。少し窮屈な感じがしたが、これが裏目に出た。何と1番ホールのパー5で11をたたき、頭の中が真っ白になった。ドライバー、ウッド、アイアン何を使っても球が上がらない。続く2番ホールもダブルボギー、相変わらず球が上がらず気持ちが落ち込んだ。3ホール目で少し体が温かくなったので着込んだ下着を脱いだら、ようやくまともに当たりだした。どうやら自分で気付かずに自己規制をしていて体の自由度を奪っていたのだ。

体の動きもそうだが、国全体が今の21世紀社会に適合していくために、また世界で日本の存在感を示すためには、ある程度自由で柔軟な動きを促進する制度が必要となる。少子・高齢化社会における税と社会保障の一体改革、環境・エネルギー、教育、食料と水の確保のための農林水産業、医療など、数えれば切りがないくらい多くの分野で改革が必要だ。そのためには20世紀に定められた規制を一度緩和して変化を促し、新しい産業構造を構築し、新しい社会を創出しなければならない。そこには、時代に合った新たなルールづくり、すなわち規制改革が求められる。現状打破のためには既得権益からの政策見直しも必要だ。

3年3カ月の間、政権をつかさどった民主党には、経済に疎くまったくがっかりさせられたが、安倍自民党政権は日本経済再生を第一の目標とし、富の創生から日本を活性化させる政策を打ち出している。これが期待感を持たせているのかもしれない。1991年にバブルが崩壊し、デフレ経済に突入、2001年の米国ITバブル崩壊を経て、2003年に底を打ち景気上昇、そして米国の住宅バブルによるリーマン・ショックで再び世界が不景気になった。2003年から10年、米国の住宅産業の回復も見えだした今年2013年は景気の底でありながらも、2014年から再び景気が回復するというシナリオに大いに期待が持てる。